

農業と農業の周辺産業を活性化して  
農村に“にぎわい”を取り戻す

小谷（敬称略、以下同） 西川大臣  
は農政が専門でお伺いしましたが、改めて、農林水産大臣としての抱負をお聞かせいただけますか。

大臣 私、農政筋でやってきましたね。今回、農林水産大臣に就任して、攻めの農林水産業の実行、そして、農家の所得を上げて、農村のいは、農家の所得を上げて、農村の

攻めの農林水産業を実行するためには、これに尽きると思います

にぎわいを取り戻す。これに尽きると思いまますね。一方、農家の所得が上がり、個々の経営規模が大きくなり、農業から離れていく人も出しますから、その人たちの就業機会を作らないといけません。できれば、農業に関係した周辺産業、農家と一緒にして、農村に“にぎわい”をね。こういうことを努力していくと思って

## 卷頭スペシャル企画

# 「攻めの農林水産業」実行で農村に“にぎわい”を 西川公也農林水産大臣に聞く

——聞き手・フリーランサー 小谷あゆみさん



## EU・アメリカ市場を焦点に輸出額1兆円目標を超えていきたい

小谷 農家の所得を上げるといううどですが、どのようにして取り組むのでしょうか。

大臣 今、農業就業者の平均年齢が67歳です。所得が上がらないければ若い人は来てくれません。そのため、農産物の附加価値を上げる、周辺産業と組んで、加工や流通を行なう6次産業化を進めます。経費も10年間で、米の生産費を4割下げていく。両方うまくいかないと農業に懸

9月下旬に訪問したミャンマーで、ティン・セイン大統領と

それが出来ません。さらに海外に目を向

け、農林水産・食品の輸出額を、今約5兆円から、2020年に1兆円に増やし、さらにはこれを大きく超えていきたいと考えています。輸出先についてもEUの約5億人、アメリカの約3億1,000万人に焦点を持つて行きたいです。

小谷 輸出を増やす農作物というのは、どういう品目をお考えでしょうか。

大臣 まず、日本では米が余っています。肥料もですね、糖度の高さ、甘さで、やはり日本が一番ですよ。なぜこそこそと隠しておられるのか、これまで売る努力をしなかつたのか、海外の人々に食べてもらわないと困りますね。

小谷 売る努力をしてこなかったということでしょうか。売れなかつたではなくて、でもう日本が一歩前ですよ。なぜこそこそと隠しておられるのか、これまで売る努力をしなかつたのか、それまで山を乗り越えるまでの間ではなかった。日本は、国が豊かなお金もあつたから貰えばいいと、こういう考え方があるからだと思います。しかし、農業はそういう風に、山を乗り越えるまでの間ではなかった。日本は、國が豊かなお金もあつたから貰えばいいと、こういう考え方があるから、だから私は、2万5,000人強の農水省の職員に、みんなで輸出をやろう、と言っています。

小谷 その時に農産物だけじゃなくて、例えば家具に使われる板、壁紙、こんなきれいなものの中でもあります。だから私は、2万5,000人強の農水省の職員に、みんなで輸出をやること、輸出に全力をあげていきたい。それで日本の農林水産業、元気でいきたいですね。

新たに・あゆみ  
兵庫県出身。フリーランサー。石川テレビのアシスタントを退職後フリーに。「食料・農業・農村政策審議会」「畜産部会」「農業農村振興整備部会」の臨時委員や農業キャリアリストとして活躍。「ヒジマツ」と名乗り、野菜を愛好するナラウサーとして、フィードバックやブログなどを運営。講演会活動なども行う。

## 日本の農産物は競争で生き残りを転換して売り方に努力を

小谷 売る努力をしてこなかつたといふことで、売れなかつた理由は、どちら日本が一番ですよ。なぜこそこそと隠しておられるのか、これまで売る努力をしなかつたのか、それまで山を乗り越えるまでの間ではなかった。日本は、國が豊かなお金もあつたから貰えばいいと、こういう考え方があるから、だから私は、2万5,000人強の農水省の職員に、みんなで輸出をやること、輸出に全力をあげたい。それで日本の農林水産業、元気でいきたいですね。

本年9月に、これまで、農林水産分野を中心に取り組んでこられた西川公也大臣が就任されました。

「攻めの農林水産業の実行」を掲げておられる西川大臣に、今後の抱負、東日本大震災からの復旧・復興の取り組みなどを語ってもらいました。

写真／多田昌弘



美しい棚田風景  
というのもひとつ  
農的価値ですよね。  
そういう  
日本らしい農業も  
大事だと思います

木の繊維の方向を縦、横、垂直に組み合わせた複合材で、主に外装や内装、構造部材などに用いられる。この複合材は、木の特徴を最大限に活かしながら、強度や耐久性、加工性などを大幅に向上させたものである。

**大臣の元気**　板木県の  
食の魅力とは

被災地の復旧・復興と同時に、世界で通用する最先端の農家を育てたい――

小谷 攻めの農林

**小谷** 攻めの農林水産業といえば、輸出がイメージしやすいですが、国内についてはいかがでしよう。

**大臣** そうですね。日本人が米を一番食べていた年は、1943年1万5千萬石で、今は8000万石を割っています。早く他のものに切り替える例えば、いくら作っても足りない家畜のエサ用の米とかですね。からくらはインセンティブをさせて、切り替えていかないといけませんね。

今年の米は、価格が下がるかもしれないと言われますけれど、国では

（水産業）といつても具体的に何をやるのかがわからなくなってしまった。この対策では、基準收入があつて、実際の卸売業者への販売取扱いと、そのによる収入が並ぶ。それによると、現実には、米では農家にそう影響はない。また、これまでには、「攻めの農林政策」という保険的な仕組みがあります。この対策では、基準收入があつて、実際の卸売業者への販売取扱いと、そのによる収入が並ぶ。それによると、現実には、米では農家にそう影響はない。

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark pinstripe suit, a white shirt, and a yellow patterned tie. He is looking slightly to his left. The background is blurred, showing some greenery and flowers.

**もつと理解してもらうべき**



4年ぶりに出荷を再開した福島県川俣町の花農家を視察

小谷 私は日本の美しい棚田風景と、いうのも、ひとつの農的価値だと、思っています。黄金色の美しい田んぼとか、そういう日本らしい小さな農業っていうのも大事だと思っていて、先づ、そこを守らなければいけません。地元はみんなアーティストで、それをすごく持っていますよ。もう一つ儲けていい。

**大臣** 大丈夫、大丈夫。魅力のある農村と農業にしますから、必ず。  
**小谷** ますます安心しますね。本日はありがとうございました。

農業を経済効果だけで考えたら、  
棚田はいらなくなってしまう  
でも、それでは國家は成り立たません

農業を経済効果だけで考えたら  
棚田はいらなくなってしまう  
でも、それでは国家は成り立ちま  
最近では、「スカイベリー」という  
るんですね。

A person in a light blue t-shirt and dark pants stands in front of a display of white flowers.

The image is a composite of two photographs. On the right side, there is a close-up portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, a white shirt, and a yellow patterned tie. He is looking slightly downwards and to his left with a serious expression. On the left side, there is a photograph of a group of about six people, mostly men in business attire, standing in a large greenhouse filled with rows of green plants. The background shows the structural framework of the greenhouse.

2014 aff 11月号 ● 4